

# 連合長崎 男女平等参画

# トップリーダー宣言



連合長崎

男女平等参画の推進は、少子高齢化と人口減少が同時に進行する中、社会や組合活動の中で重要課題ですし、日本の未来を左右すると言っても過言ではありません。法改正や仕組みが変わってきているとはいえ、まだまだ十分とは言えません。連合長崎は、性別などで差別されることがなく、多様な価値観や

会長 宮崎 辰弥

考え方が受け入れられる社会を実現していくため、構成組織、地域協議会のトップのリーダーシップと組合員の積極的な参画のもと一歩一歩着実に、男女平等参画社会の実現に向け取り組みを展開していきます。

## 自治労

執行委員長 松田 圭治



自治労長崎県本部では、男女平等課題を自治労運動すべてに関わる課題として捉え、全単組での取り組みを推進します。春闘期を年間の運動サイクルのスタートと位置づけ、「雇用主要求による男女平等の実現」、「地方・国への政策要求による男女平等の法制度・社会環境の整備」、「労働組合における男女平等参画」の実現をめざします。とくに、6月の「男女平等推進月間」には「男女平等推進闘争」を統一闘争として集中的に取り組み、運動の前進をはかります。



男女平等に関わる課題等の把握と各総支部、単組での運動の推進を図るため、各総支部で青年女性を対象としたオルグを実施します。

構成組織および連合長崎地域協議会のトップリーダーから、今後の活動推進における宣言をお寄せいただきました。

「プラスワン行動」は、「男女平等参画」に関して、この1年間でまずできる事を書いていただいています。力を合わせて、男女平等参画・女性参画を推進していきましょう。



## UAゼンセン

支部長 小西 英二



「男女共同社会の実現と女性の参加・参画の推進」を着実に実行していくには、男女共同社会の意味、女性組合員の参加・参画の意味、これらの推進で何を指すのか、組合員一人ひとりがこのテーマに対し、真剣に考え、かつて集める活動とされた運動を、集まる活動にするための、機会を女性組合員に特化せず、機会と均等を計りながら、男女共同社会の実現をめざします。ただし、男女のいづれかが目標達成のために、立ち止まることはしません。



「UAゼンセン長崎県支部 男女共同参画推進計画」を着実に進めるため、UAゼンセン本部・部門と連携し着実に進めます。

## 電力総連

会長 本多 毅



多様性や個性を認め合い、その能力に様々なステージで十分に発揮できるよう、男女が生き生きと働く職場や社会環境づくりを目指して、男女平等参画活動をこれからも組織一体となって推進します。



男女平等参画活動の推進に資するフォーラムを開催し、意識高揚を図ります。

## 情報労連

議長 上田 洋一



情報労連長崎県協議会は、男女が互いに尊重しつつ役割と責任を分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮することができる男女平等参画社会の実現をめざします。このため、男女平等参画の必要性の浸透を図り、男女がともに参加し行動することで組織の充実・発展につなげます。



職場の男女平等参画課題について議論する「労使で話し合う場」の充実をめざします。

## フード連合

議長 二見 秀人



フード連合本体において、女性役員数・比率ともに増えており、連合の進める男女平等参画の実現に向けて確実に実施されています。ただ、フード連合の各地区協においては、まだまだであります。長崎地区協においても、男女平等セミナー等への積極的な参加は実施できていますが、女性幹事が1人もいない状況です。まずは、女性幹事をたてることにより、女性の意見を地区協活動の中に反映していきます。最終的には、長崎地区協より女性議長を出したいと思えます。



まずは、1人の女性幹事をたてます。

## JP労組

議長 岩永 洋一



女性活動を活性化していくため、「女性参画率向上～700人の「結」～」を長崎連絡協議会統一のテーマとし、そのための取り組みとして「活動への参加を増やす」「女性役員育成」の取り組みを展開してきました。引き続き、女性組合員同士の交流を通じたネットワークづくり、女性組合員の参画意識の向上、男性組合員の意識の醸成をはかることとします。



- ・女性リーダー育成のための女性役員セミナー(学習会)の開催
- ・女性組合員政治学習会の開催
- ・各機関大会における女性代議員数23%の達成
- ・女性役員配置率20%の達成

## 自動車総連

議長 浦田 智



女性組合員及び女性執行委員がいきいきと活動できる環境づくりを心がけ、男女平等参画の実現に向けて組合員全員で取り組みをさらに進めていきます。



女性組合員を対象としたセミナーや意見交換会を開催し、活動の幅と交流を広げていただきます。

## 国公連合

議長 嶋 三郎



公務職場における男女平等参画の推進を求め、ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、積極的に取り組みます。



女性組合員セミナーを開催します。

## 電機連合

議長 桜井 健一



「男女がいきいきと働きやすい環境」を目指し、仕事と生活も大切にしながら働き続けるための環境整備に取り組めます。またこれまで拡充してきた両立支援制度を、男女とも気がねなく利用できる職場にするため、仲間と支えあう意識・風土の醸成に取り組めます。



- ◇女性組合員に特化した意見交換会(ランチミーティング)を開催します。
- ※必要に応じて年代別で課題の洗い出しを行います。
- ◇仕事と育児・介護との両立支援制度の周知、利用状況の確認や利用者の意見など情報収集と課題の洗い出しを行います。

## 運輸労連

執行委員長 山口 裕志



組織を活性化させ、社会を前進・発展させていくためにも女性の組合活動への参加が必要不可欠です。組合活動への参加率を向上させるためにも、女性が参加しやすいイベントの企画や、職場環境の改善に取り組めます。



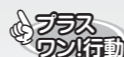
中央本部などで開催されているセミナーへの参加を積極的に行います。

## 日教組

中央執行委員長 山下 和英



長崎県教職員組合は、もともと女性比率の高い産別であることを踏まえ、女性役員比率30%をめざしと取り組みをすすめています。また、専門部として女性部が存在しており、活発な活動を展開しています。これらを機軸としながら、教育研究活動とも連携を深め、男女の自立・平等・共生をめざす教育実践を進めていきます。さらに教職員のワーク・ライフ・バランスを回復するためにも、男性の働き方を見直し、女性参画をすすめる必要があります。



中央で開催される「女性参画」に関するセミナー等、また、今年度長崎で開催される九州ブロックの「母と女性教職員会」の運営も含めて、積極的な男性職員の参加を図っていきます。

## JR連合

議長 久木崎 功



今やなくてはならない存在となっている女性労働条件の向上と、働きやすい職場環境づくりに向け、積極的・継続的に行動し、将来の女性役員の育成に向け活動します。



女性組合員に特化した意見交換会を開催します。

## 全水道

執行委員長 樫本 洋



「男女平等参画」についてですが、産別として女性の組合員数(職員数)が全体の1割程度という状況にあります。当然、職場内の女性の数も少ないこととなりますが、その声をしっかりと聞いていく必要があります。しかし、現実的には組合役員に女性の擁立ができていないなど、その足掛かりは極めてありません。単組独自の女性に特化した活動となると計画・運営など難しい問題がありますので、労働組合の強みであるつながりを持って、「組合活動への男女参画」を目指していきます。



組合活動(懇親会も含む)に女性組合員にも参加してもらいます。

## 長崎地協

議長 酒井 隆



男女がそれぞれ共感しあい、誰もが働きやすい社会への実現に向けて、長崎地協構成組織と連携し、女性が参加しやすい取り組みを展開します。



女性が参加しやすい環境づくりのために、行事毎での「託児所」を設置します。

## 大東・杵岐・対馬地協

議長 谷口 誠



「職場における男女平等参画」「組合活動における男女平等参画」をすすめるために、地域協議会としてはもっと女性の意見を取り入れたい。そのためには構成組織から積極的に「女性幹事」を選出してもらえるように、働きかけ等を行ってまいります。



次回の定期大会の折の大会役員には、女性議長を選出してもらえるように構成組織に対してお願いします。

## 自治労連

議長 久富 健一



男性も女性も働くことに生きがいを感じることで、職場環境づくりに取り組みます。



執行委員の女性登用及び女性も参加しやすい組合行事を計画します。

## 私鉄総連

議長 田尻 正行



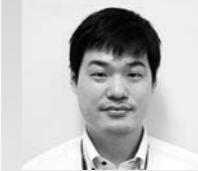
人口減少・超少子高齢化が進む中、誰もが安心して働きかいはある人間らしい仕事や生活を送るには、男女平等社会が不可欠であります。男女が共にお互いを尊重しあい、働きやすい職場環境や充実した生活のため、今後も男女平等参画を組織として積極的に推進していきます。



「男女平等参画」の学習会を開催します。

## 全労金

支部長 宮川 大資



全労金九州労金労組長崎支部では、「第2次男女平等参画推進計画」を策定し、取り組みを進めています。具体的には女性役員比率の目標を定め、集会等を開催する際には託児所を設置するなど、誰もが参加しやすい環境整備に努めています。誰もが平等・対等に働き続けることができる組織風土・労働環境を確立するために、男女平等参画社会の実現に向けた運動にこれからも取り組んでまいります。



諸会議等は平日開催を基本としつつ、集会等の開催に際しては必要に応じて託児所を設置します。

## 連合ながさきユニオン

執行委員長 高藤 義弘



女性の良さと男性の良さをお互いに理解しつつ、女性も男性もいきいきと働ける環境づくりに取り組みます。



全組合員対象のレク・交流会を開催します。

## 佐世保地協

議長 菊永 昌和



男女平等課題を佐世保地協の重要課題の一つと捉え、地協組織・労働組合と連携し、男女平等推進を本年運動として取組みます。



佐世保市の審議会委員に、地協より女性の審議委員を1名以上選出することを努力します。

## 五島地協

議長 釘本 和則



連合長崎第2次男女平等参画推進計画に基づき、女性や若者が運動の主体的な担い手となりすべての働く者が参加したいと思う魅力ある運動を追求します。



男女平等参画社会の実現に向け、行政における各種審議会に積極的に参画し早期実現に努めるとともに、単組においての女性政策の充実にも努めます。